

平成 2 2 年度

事 業 報 告 書

自 平成 2 2 年 4 月 1 日

至 平成 2 3 年 3 月 3 1 日

財団法人 健康医学予防協会

1. 調査研究部門

平成22年度骨粗鬆症研究事業報告書

<研究題目> 骨粗鬆症骨折患者におけるQOLの変化

目的：

骨粗鬆症は骨の強度が低下して骨折を生じやすい状態である。特に脊椎は骨折を発症しやすい場所で、年齢とともに多発して体の変形や日常生活動作を阻害する。本研究では脊椎骨折による日常生活動作への影響についてQOL (Quality of Life) 質問票を用いて評価し健常者との比較において検討する。

対象：

骨粗鬆症による脊椎骨折を発症した方で、女性患者38名で平均年齢 81.32 ± 6.04 歳である。

方法：

日本骨代謝学会骨粗鬆症QOL質問票 (JOQOL) を用いて調査した。全体の38項目中18項目を抽出して各項目4点の72点満点で点数化した。別の調査における同年代の地域高齢健常女性におけるQOL調査との比較を行った。

結果および考察：

QOL質問項目から、骨粗鬆症脊椎骨折発生により疼痛領域と日常生活領域は大きく低下している。健康に対する不安や家族への依存といった精神的な部分にも影響を及ぼしている。点数的にはほぼ1点以下で0点になる項目も見られ、活動性が著しく低下することが明らかである。

大腿骨頸部骨折に比べて脊椎骨折については骨折後の影響について充分認識されていなかった。近年の報告では脊椎骨折により骨折後の身体機能低下は大腿骨頸部骨折と同等または項目によってはより障害の程度が大きいこと、生命予後についても影響が大きいことが示されている。この調査においても骨折発生によって大きなQOL低下が確認され、その回復が重要である。骨折の治癒過程においてメンタル面でのケアも重要と思われる。

QOLの評価は患者さんの視点からの評価であり、今後治療経過においても活用することが期待される。

JOQOL 質問一覧

No	質問	No	質問
Q-1	痛み回数	Q-22	外出回数
Q-2	痛み期間	Q-23	友人親戚
Q-3	自発痛程度	Q-24	行事
Q-4	動作痛程度	Q-25	旅行
Q-5	不眠回数	Q-26	庭仕事
A	Q-6 着替え	Q-27	健康度
	Q-7 トイレ	Q-28	1年健康
	Q-8 和式・洋式	Q-29	1年生活
	Q-9 入浴	Q-30	10年身長
B	Q-10 食事	Q-31	10年円背
	Q-11 掃除	Q-32	体形感
	Q-12 棚	Q-33	体形症状
	Q-13 買い物	Q-34	転倒心理
	Q-14 運ぶ	Q-35	実行諦め
C	Q-15 椅子	Q-36	さわやか
	Q-16 畳	Q-37	神経質
	Q-17 前屈	Q-38	家族依存
	Q-18 歩行	Q-39	総括
	Q-19 杖		
	Q-20 階段		
	Q-21 乗り物		

疼痛

日常生活活動

社会的活動
娯楽

健康度

姿勢
体型

転倒心理的

JOQOL 18項目

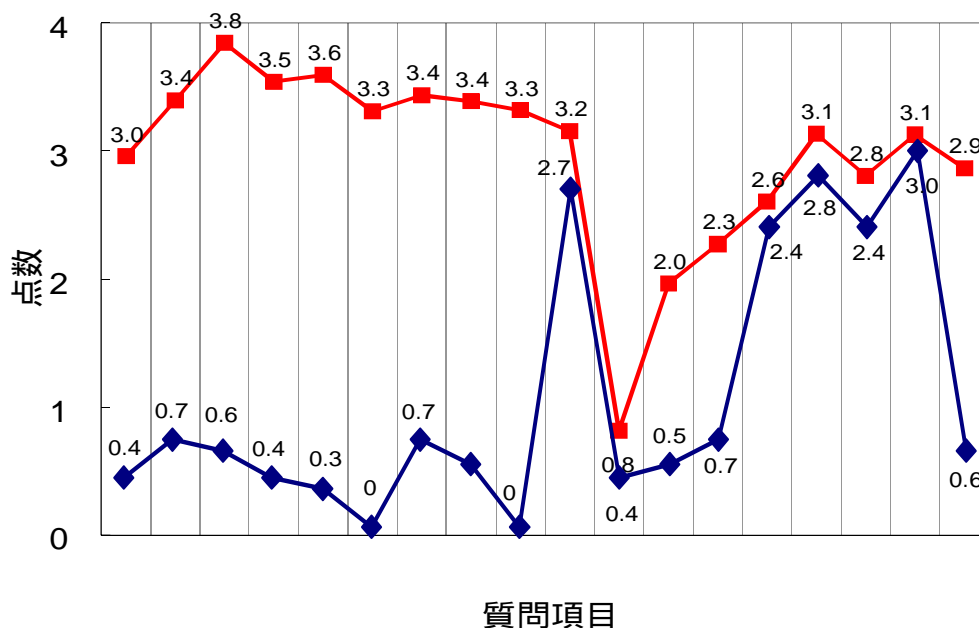
No	質問	No	質問
Q-1	痛み回数	Q-22	外出回数
Q-2	痛み期間	Q-23	友人親戚
Q-3	自発痛程度	Q-24	行事
Q-4	動作痛程度	Q-25	旅行
Q-5	不眠回数	Q-26	庭仕事
A	Q-6 着替え	Q-27	健康度
	Q-7 トイレ	Q-28	1年健康
	Q-8 和式・洋式	Q-29	1年生活
	Q-9 入浴	Q-30	10年身長
B	Q-10 食事	Q-31	10年円背
	Q-11 掃除	Q-32	体形感
	Q-12 棚	Q-33	体形症状
	Q-13 買い物	Q-34	転倒心理
	Q-14 運ぶ	Q-35	実行諦め
C	Q-15 椅子	Q-36	さわやか
	Q-16 畳	Q-37	神経質
	Q-17 前屈	Q-38	家族依存
	Q-18 歩行	Q-39	総括
	Q-19 杖		
	Q-20 階段		
	Q-21 乗り物		

Mini-JOQOL質問項目

QOL 骨折群と健常者の比較

質問	骨折	健常女性
1 先週、何日くらい背中や腰に痛みがありましたか	0.4	3.0
2 身体を動かす時、背中や腰の痛みはどの程度でしたか	0.7	3.4
3 お風呂に一人で入っていますか	0.6	3.8
4 手を伸ばして頭の上の棚からものをとることができますか	0.4	3.5
5 日用品(食料品など)の買い物一人でできますか	0.3	3.6
6 5kg位のを10メートル位運べますか	0	3.3
7 畳から立ち上がれますか	0.7	3.4
8 50メートル以上連続して歩けますか	0.5	3.3
9 1階から2階までの階段で昇り降り一人でできますか	0	3.3
10 普段はこの1年位で、何回くらい友人や親戚の家を訪問しましたか	2.7	3.2
11 普段はこの1年位で、何回くらい旅行や行楽などに行きましたか	0.4	0.8
12 一年前と比べて、あなたの現在の健康状態はいかがですか	0.5	2.0
13 一年前と比べて、あなたの現在の生活に満足を感じていますか	0.7	2.3
14 十年前と比べて身長が低くなりましたか	2.4	2.6
15 十年前と比べて背中が丸くなりましたか	2.8	3.1
16 転倒するのではないかと不安を感じましたか	2.4	2.8
17 転倒の不安のために、やりたいことを諦めたことがありましたか	3.0	3.1
18 家族や他人に完全に頼る生活になるのではないかと心配ですか	0.6	2.9
合計平均	19.1	53.4

QOL 骨折群と健常者の比較



2. 健康診断・診療部門

米国のサブプライム・ローンによる影響が、予想以上に大きく日本経済の見通しは未だ暗い方向から脱出しきれない状態の中、3月11日に東北地方太平洋沖及び長野県北部地震・津波・原子力発電所の事故が発生し、年度末は日本だけでなく、世界全体を震撼させる大災害が発生しました。

お亡くなりになられた方々には心よりご冥福と、被災されました皆様に心よりお見舞い申し上げます。

団塊世代の大量退職にも拘わらず、日本経済に雇用・所得等の不安をもたらし、結果として大卒・高卒等新規学卒者には大変厳しい雇用環境が続いております。

県内企業の景況は持ち直し傾向にあるものの、全国水準よりも低く、本格的な回復傾向には程遠く厳しい状況が続きました。

上記のような環境下で、様々な状況に対応できる事業展開を進めてまいりました結果昨年比において、受診者数、売上金等全てを上回る経営成績となりました。

長岡健康管理センターに於きましては、施設健診受診者数が大幅に増加し、特に一般健診者数が前年比約2,090名の大幅な増加となりました。

又人間ドックは、協会全体で前年比658名の増加となりましたが、内長岡センターは376名、合計で2,466名の増加で施設受診者数が30,067名となりました。又、売上額も前年比7.27%の伸び率で約30,200千円の増収となり今後も施設内一般健診・人間ドック等の受診者の増加が見込まれるものです。

22年度の当財団の業績につきましては、年間売上額2,119,221千円で前年比3.89%の伸びで、前期比79,394千円の増収となりました。

要因としては、新潟センター、長岡センターともに施設健診の受診者が順調に増加し、特に一般健診者数が前年比3,595名の増加となつたものです、また人間ドックも前年比658名の増加で、特に長岡センターの受診者の増加が増収・増益に寄与したものです。

中味的には、経済情勢と雇用環境が厳しい中、巡回健診が予算比約52.6百万円の売上増と健闘し、前年比7.9百万円の増収となりました。

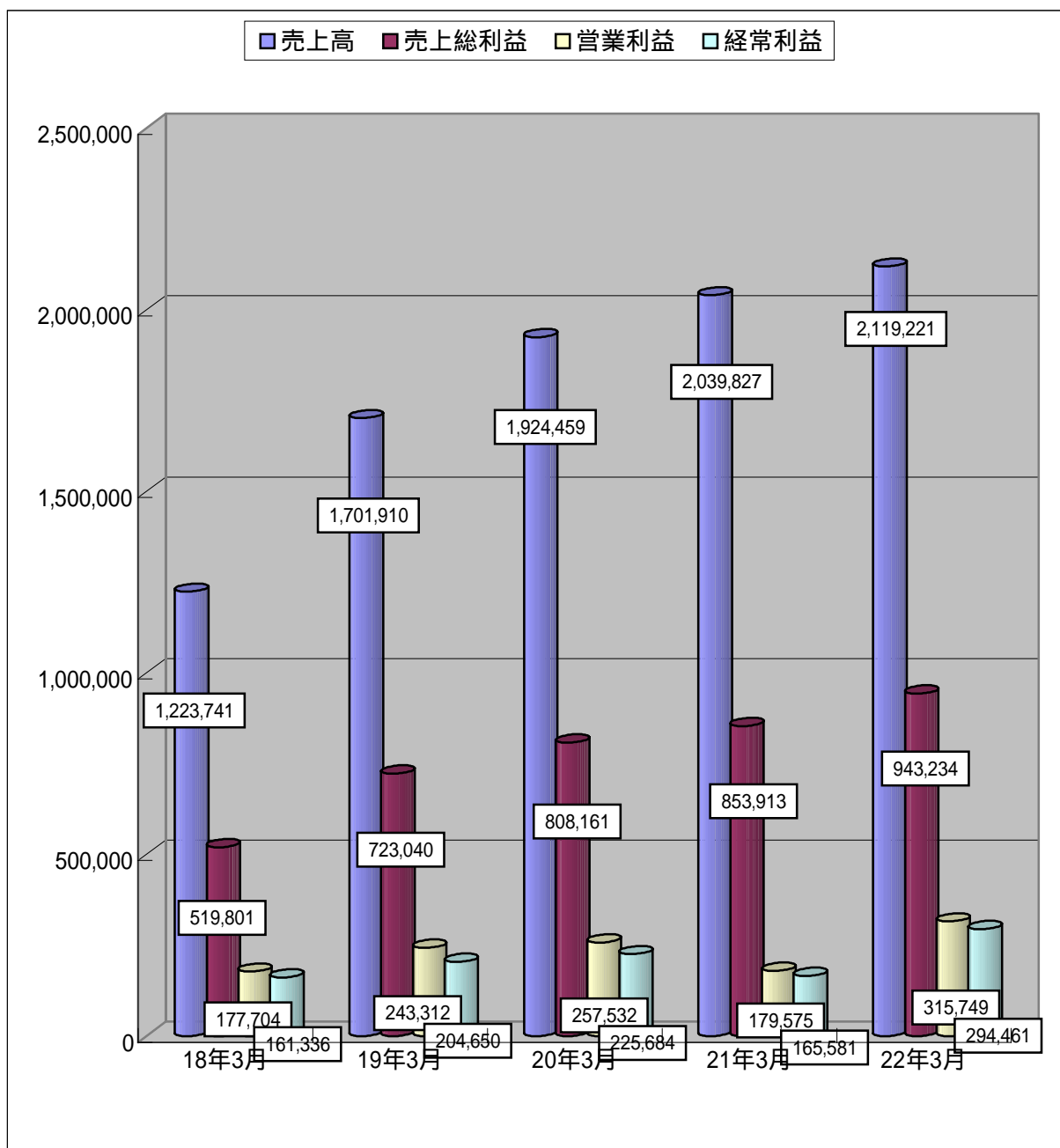
施設健診は予算比3.5百万円、前年比4.7百万円の増収となりました。

人間ドックはほぼ計画どおりとなりましたが、前年比23.5百万円の増収となりました。

営業利益は前年比で315,749千円の136,174千円の増益、経常利益は前期比128,880千円の増益となりました。

(1) 業績推移

売上の増加に伴い、売上総利益、営業利益、経常利益等全て過去最高の増収増益となりました、特に経常利益では前期比77.84%の高い伸びとなりました。



(単位:千円)

項目	年月	18年3月	19年3月	20年3月	21年3月	22年3月
売上高		1,223,741	1,701,910	1,924,459	2,039,827	2,119,221
売上総利益		519,801	723,040	808,161	853,913	943,234
営業利益		177,704	243,312	257,532	179,575	315,749
経常利益		161,336	204,650	225,684	165,581	294,461

(2) センター別売上比率

長岡センターでは一般健診・人間ドックともに受診者が順調に増加し、前年比約2,466人の増加となり、30.2百万円の増収となりました。

(単位:百万円)

	20年度		21年度		22年度	
	売上高	比率	売上高	比率	売上高	比率
新潟	1,549.7	80.53%	1,624.9	79.66%	1,674.1	79.00%
長岡	374.7	19.47%	414.9	20.34%	445.1	21.00%
合計	1,924.4	100.00%	2,039.8	100.00%	2,119.2	100.00%

(3) 受診形態別売上

施設健診が前年比7.19%の47百万円増加、人間ドック6.19%の23.5百万円の増収となり、平成20年度、21年度に比較して低い伸びであった

(単位:百万円)

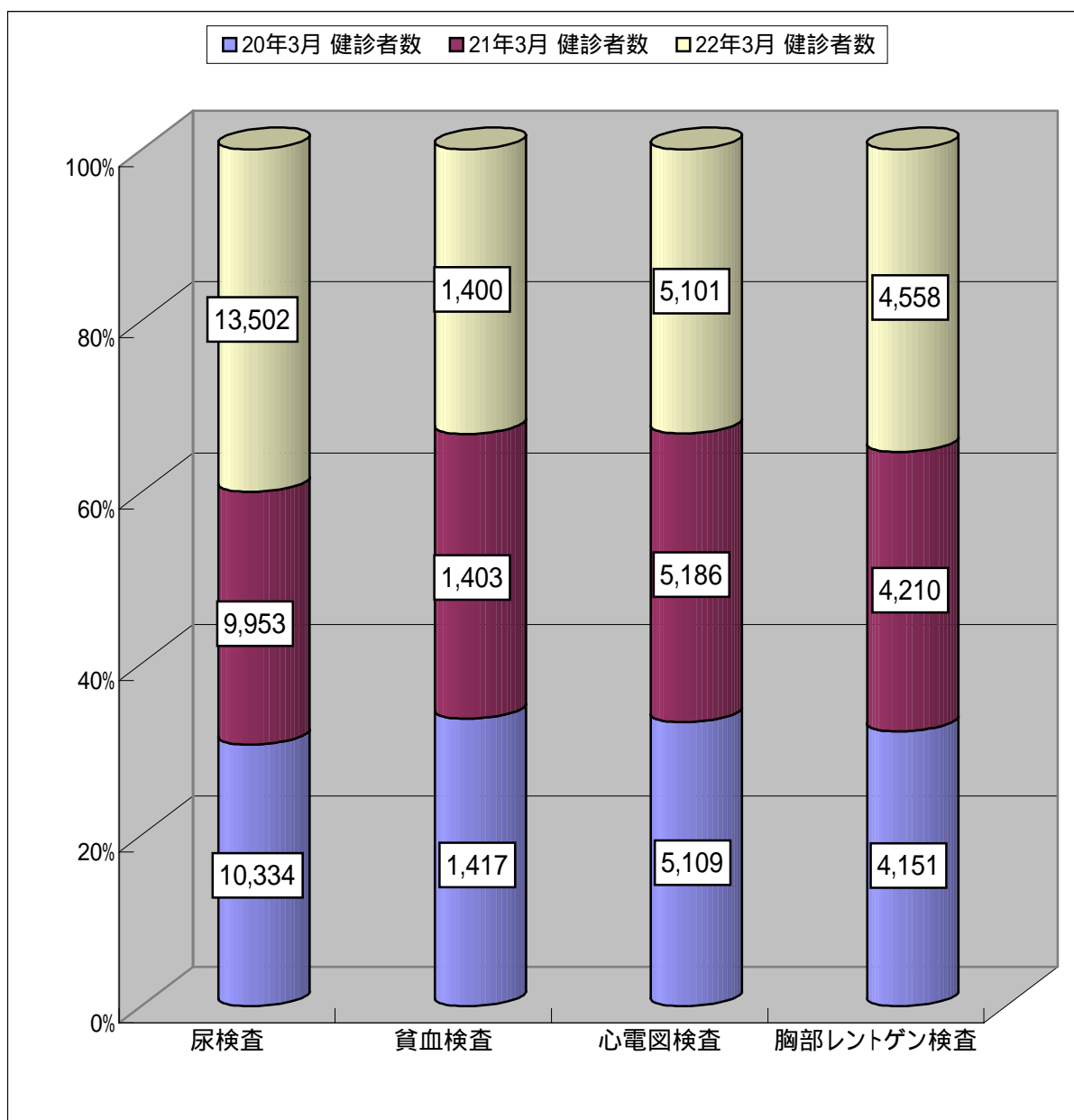
	H19年度	H20年度	対前年 増加率%	H21年度	対前年 増加率%	H22年度	対前年 増加率%	増加額
巡回健診	908.7	990.4	9.0	973.9	1.7	981.7	0.80	7.9
施設健診	496.5	588.4	18.5	654.5	11.2	701.5	7.19	47.0
学校健診	16.6	11.8	28.9	10.7	9.3	10.7	0.34	0.0
人間ドック	262.3	316.5	20.7	380.5	20.2	404.0	6.19	23.5
外来診療	17.8	17.3	2.8	20.2	16.8	21.1	4.43	0.9
計	1,701.9	1,924.4	13.1	2,039.8	6.0	2,119.2	3.89	79.4

(4) 集団学校健診実績

平成22年度集団学校健診実績ですが、前年度に比較しますと尿検査、胸部レントゲンは大幅に増加し、貧血検査、心電図検査は若干の減少となりました。

(単位:人数)

項目	年月	20年3月期		21年3月期		22年3月期	
		健診者数	前年増減	健診者数	前年増減	健診者数	前年増減
尿検査		10,334	5,716	9,953	381	13,502	3,549
貧血検査		1,417	6	1,403	14	1,400	3
心電図検査		5,109	2,188	5,186	77	5,101	85
胸部レントゲン検査		4,151	2,087	4,210	59	4,558	348



(5) 一般健診・人間ドック受診者数年間推移

施設内での一般健診受診者数が大幅に増加し、年間で前年比3,595人の増加となりました、また人間ドックは前年度比較では、658人の増加となり年間人間ドック受診者が初めて一万人の大台にのりました。

(単位:人数)

	平成21年度実績				平成22年度実績			
	一般健診受診者数		人間ドック受診者数		一般健診受診者数		人間ドック受診者数	
	一般健診	前年比	人間ドック	前年比	一般健診	前年比	人間ドック	前年比
4月	4,703	321	487	61	5,508	805	599	112
5月	5,060	144	706	45	5,120	60	784	78
6月	5,662	579	1,197	17	6,654	992	1,241	44
7月	5,795	626	1,206	111	5,823	28	1,313	107
8月	4,679	828	1,008	182	4,595	84	1,028	20
9月	4,360	84	804	45	5,483	1,123	958	154
10月	6,205	616	1,032	128	6,313	108	1,075	43
11月	5,153	591	905	72	5,451	298	955	50
12月	2,556	374	582	82	2,627	71	601	19
1月	1,990	80	539	103	2,139	149	548	9
2月	3,669	560	683	105	3,926	257	696	13
3月	3,167	627	528	114	2,955	212	537	9
合計	52,999	5,270	9,677	1,065	56,594	3,595	10,335	658

(6) 事業所健診実績

事業所健診におきましては、特殊健診を除き健診者数の大幅な増加となりました。特に胃部検診を含む成人病健診は毎年度大幅な増加となっております

(単位:人数)

項目	年度	20年度実績		21年度実績		22年度実績	
		健診者数	前年増減	健診者数	前年増減	健診者数	前年増減
労働衛生規則による定期健康診断		96,378	7,050	93,374	3,004	96,437	3,063
成人病健診(胃部検診を含む)		77,731	18,027	81,320	3,589	84,739	3,419
(特殊健診) (有機溶剤、鉛、じん肺、特化物、石綿等)		15,376	396	15,630	254	14,610	1,020

3. 管理・その他部門

(1) プライバシーマーク

- 22年4月 監査年間計画書作成
教育研修年間計画書作成

- 22年8月 全職員向け教育研修実施
全職員定着度確認テスト実施
教育研修実施報告書
個人情報保護委員会兼倫理委員会の開催
監査個別計画書・監査通知書

- 22年9月 監査報告会の実施
監査報告書作成

- 22年10月 見直し結果にもとづく改善報告

- 23年2月 個人情報保護委員会兼倫理委員会の開催

(2) 機関誌 Kenko

- 22年9月 第15号発行
- 特集 腹部臓器の仕組みと病気()
肝腎かなめの臓器 腎臓
(財法)健康医学予防協会施設長
新潟大学名誉教授 石原 清

骨粗鬆症 骨…ほねのお話
骨粗鬆症の治療開始についての新しい基準
医療法人 愛広会 新潟リハビリテーション病院
院長 山本 智章

健康体力づくり

「現代人と姿勢」

株式会社 ボディムーブズ 代表取締役 上月 篤子

いきいき健康企業

株式会社 千代田設備

随 想 日々の成長はお客様からのお声から

財団法人 健康医学予防協会評議員 中山 伸二

23年3月第16号発行

特 集 腹部臓器の仕組みと病気()

沈黙の臓器 肝臓

(財法)健康医学予防協会施設長

新潟大学名誉教授 石原 清

骨粗鬆症 骨…ほねのお話

骨粗鬆症治療の新しいガイドラインについて

医療法人 愛広会 新潟リハビリテーション病院

院長 山本 智章

健康体づくり

「今話題のエクササイズ - ピラティス - 」

株式会社 ボディムーブズ 代表取締役 上月 篤子

いきいき健康企業

株式会社 新潟クボタ

随 想 教育実習から学んだ事

財団法人 健康医学予防協会監事 岡部 好伸

4. 理事会および評議員会(平成22年度開催分)

(1) 定例理事会

開催日 平成22年5月29日(土曜日)

開催場所 新潟市中央区笹口1-1

チサンホテル&コンファレンスセンター新潟4階弥彦の間

議案 第1号議案 評議員改選承認に関する件

第2号議案 平成21年度事業報告並びに決算報告承認に関する件

第3号議案 公益法人制度改革に関する件

第4号議案 公益法人制度改革に係わる最初の評議員の選任方法
に関する件

(2) 臨時理事会

開催日 平成22年9月25日(土曜日)

開催場所 新潟市中央区笹口1-1

チサンホテル&コンファレンスセンター新潟4階阿賀の間

議案 第1号議案 最初の評議員を決定する機関である評議員選定委員
会の委員を選任する件

第2号議案 公益法人制度改革に伴う一般財団法人への移行の件

(1) 最初の評議員候補者を評議員選定委員会に推薦する件

(2) 定款変更の件

(3) 定例理事会

開催日 平成23年3月19日(土曜日)

開催場所 新潟市中央区下大川前通3ノ町2230番地

ウォーターフロント&ナイスビュー5階千秋の間

議案 第1号議案 平成23年度事業計画並びに収支予算の件

上記全議案可決

(4) 定例評議員会

開催日 平成22年5月29日(土曜日)

開催場所 新潟市中央区笹口1-1

チサンホテル&コンファレンスセンター新潟4階弥彦の間

議案 第1号議案 評議員改選承認に関する件

第2号議案 平成21年度事業報告並びに決算報告承認に関する件

第3号議案 公益法人制度改革に関する件

第4号議案 公益法人制度改革に係わる最初の評議員の選任方法
に関する件

(5) 臨時評議員会

開催日 平成22年9月25日(土曜日)

開催場所 新潟市中央区笹口1-1

チサンホテル&コンファレンスセンター新潟4階阿賀の間

議案 第1号議案 最初の評議員を決定する機関である評議員選定委員
会の委員を選任する件

第2号議案 公益法人制度改革に伴う一般財団法人への移行の件

(1) 最初の評議員候補者を評議員選定委員会に推薦する件

(2) 定款変更の件

(6) 定例評議員会

開催日 平成23年3月19日(土曜日)

開催場所 新潟市中央区下大川前通3ノ町2230番地

ウォーターフロント&ナイスビュー5階千秋の間

議案 第1号議案 平成23年度事業計画並びに収支予算の件

上記全議案可決